

社友会だより

第 52(最終)号

発行 センツウ社友会

住所 神奈川県横浜市港南区芹が谷 4-27-19
〒233-0006 大和田輝彦 内

編集者 濱田 治

年頭にあたって

会長 本田太作

謹んで新春のお慶びを申し上げます



昨年12月31日をもって社友会は解散しました。

これで、30年の歴史に終止符をうちましたが、今後は各地域での「同窓の集い」に

移行することにより、OBの方々の拠りどころとなりうる場所を残し親睦の場としての意義は残されることと信じております。

どうか皆様方、各地域での親睦を深めなお一層の交流を図って頂きたい。

長い間、センツウ社友会の維持発展にご協力を頂き有難うございました。

役員一同、厚くお礼申し上げます。

* センツウ社友会 臨時総会開催 *

平成 29 年 10 月 28 日(土)13:00 より東京都港区の島嶼会館に於いて、センツウ社友会臨時総会が開催された。

司会の松原理事が臨時総会を開催する旨宣言し、早速、会則12条に基づき、議長を選出に入り、松原理事が選出された。

議事に先立ち、役員を代表して本田会長から次のとおり挨拶があった。

【本田会長の挨拶】

本日は、遠いところから、センツウ社友会の臨時総会にご出席いただき誠にありがとうございます。

こうして、また元気な皆さんにお会いできたことを何よりも嬉しく思います。

顧みれば、センツウ社友会は、会員相互間の親

睦および福祉の増進を図る目的で 1987 年(昭和 62 年)12 月 1 日発起人の世話役の方々の尽力により創設され、また、代々の役員の方々が引き継ぎ、維持発展に尽力され今日に至っておりますが、創設から 30 年というこの時期に非常に残念ではありますが、時代の流れに沿うしかありません。

過日、会員の皆様方に「社友会の今後について」基本的な考え方をお知らせしましたとおり、残念ながら解散せざるを得ない状況となりました。

現状に合った考え方で、各地域でのより一層の交流の場を作っていただき、今後は各地域での「同窓の集い」に委ねることとしたい。

事情勘案の上、各議案のご審議をお願いいたしまして、私の挨拶とします。

【議事】

第 1 号議案 センツウ社友会の解散について承認の件

大和田事務局長からセンツウ社友会の解散を検討するに至った背景等を説明の上、次のとおり提案を行い、議長が議場に諮った結果満場一致で承認された。

○センツウ社友会は平成 29 年 12 月 31 日をもって解散する。

○センツウ社友会の主な活動であった会員相互の親睦については、地域ごとの「センツウ同窓の集い」に委ねる。

第 2 号議案 残余財産の処分等について承認の件

大和田事務局長からセンツウ社友会解散後の残余資産(現金・預金)の見込みとその処分方法、預金口座の解約、事務局保管書類等の処分方法、「HP」と「社友会だより」の取り扱い方法について説明し、議長が議場に諮った結果満場一致で承認され

た。

以上で予定の議案は全て終了し、役員を代表して本田会長から次のとおり挨拶があった。

ご審議ありがとうございます。これで 30 年の歴史に終止符を打つこととなりますが、今後各地域での「同窓の集い」に移行することにより、OBの方々の拠りどころとなりうる場所を残し、親睦の場としての意義は、残されることと信じております。

どうか皆様方、各地域での親睦を深め、なお一層の交流を図っていただきたい。

長い間、センツウ社友会の維持発展にご協力いただきありがとうございます。役員一同、厚くお礼申し上げます。



レポーター 濱田治さん

センツウ同窓の集い 全国で盛大に開催

第9回となる「センツウ同窓の集い」が平成28年11月25日と12月2日に全国各地に於いて盛大に開催されました。

今年は全国4地区で95名が参加されました。開催日順に各地の開催模様を紹介します。

中部地区

11月25日12時より名古屋金山ホテル9階の「旅籠茶屋かやかや」にて中部支部同窓の集いが開催されました。

北陸、金沢や静岡、三重の遠方からの参加者を含め、総勢14名が集い楽しい時間を過ごしました。

初めに、戸田支部長より開会の挨拶で今年の旅行で集まったメンバーとほぼ同じ顔にまた会えて嬉

しく思います。楽しい時間を過ごしてくださいとの言葉がありました。

続いて支部活動報告の後、10月28日に開催された臨時総会の模様を本田会長より説明頂きました。社友会は本年12月をもって解散となり、各地域毎の活動に委ねることになった旨のお話がありました。

中部地区の今後について出席者全員で話し合った結果、戸田氏を中心に世話役が協力し「同窓の集い」と「懇親旅行」を実施していくこととしました。



佐竹氏の乾杯音頭で宴会が始まり、飲み放題コースで次々と酒が消化されて行く中皆様、酔うほどに饒舌になりお互いの現況や昔の思い出話で盛り上がっていました。



あっという間に1時間半が過ぎこれからも健康に気を付けて、次の懇親旅行での再会を約束しお開きとなりました。



まだ飲み足りない半数の方々は近くの居酒屋へと消えてゆきました。

レポーター 奥田賢司さん

九州地区

平成29年11月25日(土)18:00より第10回センツウ同窓の集いがレトロの街・門司港の三井倶楽部で開催された。

今年の冬は九州でも一足飛びに秋から冬に気候が変わり厳しい寒さであったが当日は皆を歓迎するかのようによやかな天候であった。

今回も遠路より尾道・広島・松山及び熊本、そして地元の北九州・福岡を加え 25 名(男性 22・女性 3 名)の出席をいただき盛大に開催された。

まず、開会の挨拶で金重九州支部長より「社友会はセンツウ本体の解散により会員の入会がなく縮小の一途を余儀なくされていました。さらに会員の高齢化が進みこれ以上の継続は困難と考え解散することになり各地に展開するセンツウ同窓の集いに集約することになった。九州地区ではこれからも同窓の集いを継続していきます。」と挨拶があった。

乾杯は広島から出席の原田さんをお願いしたが挨拶の中で「広島地区でもセンツウの集いを来年 3 月頃、予定している。また 幹事より案内があると思うのでよろしくお願ひしたい」と述べ、盛大に乾杯の発声で開宴された。

今年は 10 周年(他地区より 1 年ほど早く始まった)

と言うことで金重さんが 1 回から 9 回までの写真集をダイジェスト版で制作し

回覧したが 10 年前の若々しい勇姿と時の経過を垣間見ることができた。又、そこで判ったことは皆勤賞が 5 人(山口さん・山本和恵さん・横溝さん・

金重・松崎)と云うことで紹介があった。(記念品等はありませんでした)

また センツウ同窓の集いでは毎回、出席者の一覧と出欠席はがきに記入されたメッセージをリーフレットにしてお渡ししているのですがその中で河本幸雄(平成 29/4/27・享年 79 歳)さんが亡くなったことが奥様からのメッセージで判りましたので紹介しておきます。

宴席ではレストラン当主のふく酒が振り舞われ、あまりにも美酒なのかあつという間になくなり当方には一滴も恩恵はなかった。毎度のお馴染みのことであ

るがお酒が回るとお口も軽くなるのか世の常、やがて近況報告が始まった。近況を聞きたい人に指名をかけ、次から次にリレー方式である。また、それぞれが久しぶりに会った仲間があちらこちらでグループとなり会話が弾んでいた。



今回は酒の量が足らなかったのか、予算が足らなかったのか 2 時間を過ぎたあたりからビールが足りない、お酒が足りないとか幹事に苦情殺到、これは一大事とお姉さんに聞くともうとっくに予算超過しているとの事(飲み放題では無い)、緊急一大事と幹事の懐が痛む前にお開きで万事休した。



レポーター 松崎繁行さん

中央地区

平成 29 年 12 月 2 日(土)12 時より、東京港区のメルパーク東京に於いて、「センツウ同窓の集い」が OB、現役合わせて 36 名の参加を得て開催された。集合写真の撮影後、司会進行役の鏡さんの指名により、元代表取締役社長の中村晴永様の乾杯のご発声で開宴となりました。



準備された 5 つのテーブルでは、アルコールと料理に興じながら、久しぶりの再会で、思い出話やら近



況報告やら、和やかな語らいで場が盛り上がった頃合い、司会から近況報告などをということでスピー



チの指名があり、櫻井國臣さん(学生時代に始めた囲碁とテニスに励んでいる)、第一京浜寮の管理人であった黒田繁雄さん(76歳になり健康第一に過ごしている)、この後も大場省平さん、小熊利明さん、谷野均さん、富岡齋さん、最高齢の山根信義さん、正田健一さんと、次々と壇上に登りスピーチが途絶えることなく時間は過ぎていきました。

こうしている間に、予定時間が迫り社友会副会長の崎山隆様が、センツウ社友会は今年末をもって解散することとなりましたが、同窓の集いは今後も引き続いて開催いたしますので是非ご参加いただきたいと挨拶され、恒例の関東一本締めで中締めを行い終宴となりました。



レポーター 濱田治さん

関西地区

センツウ社友会として最後の「関西方面・センツウ同窓の集い」は、神戸市内 JR 三ノ宮駅南へ徒歩5分程の神戸国際会館の西村屋ダイニングを会場として、参加数 20 名 にて宴を開催しました。

年毎にハガキ発送数が減ってきましたが、開催は今回が最後になる事情を書き込み、48枚の案内を送付42枚の返信がありましたが、その中に寂しい便りもありました。



最後だから参加する、久しぶりの参加、何時もの参加、入社年度では昭和29・昭和30・昭和40年・平成2年代の皆さんの集まりとなりました。



会場利用時間が過ぎても話題は尽きず、お店の方に催促されて仕方なく会場を後にしました。



レポーター 富田晶さん

芦原温泉に集う 中部支部

平成29年5月19～20日に北陸の名湯、芦原温泉にてセンツウOB17名が集い楽しい一時を過ごしました。

千葉、静岡、愛知、三重、兵庫、石川等各地から懐かしい顔ぶれが続々と宿に到着。早速車座になり酒盛りが始まり、近況を語り合い、現役時代の思い出を話し、今後のセンツウ社友会の運営について意見交換をし、夜の更けるのも忘れていました。

一同、次回開催の参加を約束して解散となりました。最後に今回の幹事を務められた戸田様に感謝します。



レポーター 奥田賢司さん

29年度春季ゴルフコンペ開催

園田敏雄さん優勝

平成29年5月17日(水)恒例のセンツウ社友会春季ゴルフコンペが、クリアビューゴルフクラブに於

いて開催されました。

当日は、五月晴れとはいかない曇り空でのラウンドとなりましたが、暑くもなく寒くもなく気持ちよくプレーすることができました。

今回は、常連メンバーによる3組9名のコンペとなりましたが、全員元気よく熱戦が繰り広げられました。



そんな中、このところ入賞常連組の園田敏雄さんがバスグロで優勝、足助正さんが準優勝を獲得しました。

参加された方々と入賞された方は次の通りです。

「参加者(スタート順・敬称略)」

- 1組・・・阿部正一・山形剛志・黒田繁雄
- 2組・・・林憲男・沖本良平・加藤恒男
- 3組・・・足助正・菅原志郎・園田敏雄

「入賞された方(敬称略)」

順位	氏名	グロス	ハンディ	ネット	その他
優勝	園田敏雄	89	10	79	BG
二位	足助 正	90	11	79	
三位	菅原志郎	101	20	81	

「優勝された園田敏雄さんの喜びの声」

栄えある優勝をさせていただきました園田です。42.47の89ストロークはここ数年の私の平均スコアとほぼ同じです。

したがっていつも通りのスコアが出せたのかなと思っています。

同組の足助さん、菅原志郎さんとは前回も一緒だったこともありリラックスした雰囲気の良いラウンドでした。上がってみれば我々三人が上位三人とこのことでびっくりした次第です。

相変わらず驚くのは元気な皆さんの飛距離です。私と皆さんの年齢差からすると、ティマークの色など関係なく圧倒しなくてははいけないはずなのですがどうにもかないません。

いい道具があればご紹介いただきたいものです。次回幹事を黒田さんと一緒に引き受けました。

10月18日、同じ場所での開催を予定していますので、奮ってご参加下さい。

レポーター 濱田治さん

* センツウ社友会第1回役員会開催 *

開催日： 平成29年8月5日(土) 13:00～15:00

場 所： 島嶼会館 会議室

出席者： 6名 (大場、菅原、松原、浜田、中野、大和田の各役員)

1. 議題・議事

(1) センツウ社友会の解散について

センツウ社友会の今後については、これまで役員会において検討してきた状況を踏まえて、今次役員会において「センツウ社友会を解散すること及び平成29年10月28日に臨時総会を開催し解散を付議する」ことを決議した。

さらに、この決議を周知するため、文書「センツウ社友会の今後について」を全会員へ送付することとした。なお、社友会の解散に伴う残余財産等について、金銭資産残金は4～5万円と小額になることから、残金全額を日本赤十字社に寄付することとし、その他事務局が保管している資料等は別添「社友会の解散に伴う検討事項」のとおりとすることとした。

(2) 役員会の予定と活動計画について

前項の役員会決定にもとづき、次のとおりスケジュールを確認した。

- ①8月10日 全会員へ「センツウ社友会の今後について」を郵送
- ②9月16日 第2回役員会(臨時総会に提出する議案書の検討)を開催
- ③9月25日 臨時総会の開催通知を往復ハガキで発送
- ④10月28日 臨時総会を開催
- ⑤12月31日 センツウ社友会の解散
- ⑥平成30年1月 社友会だより最終号を発行、改造のためHPを一時閉鎖

(3) 報告

・全国通信機械工業厚生年金基金関係の情報

平成28年3月末で解散した同基金が管理する残余財産については、29年6月の時点では、個人ごとの配分額を精査中であるので、確定するまでには至っていない。

これからの見通しとしては、今年12月中旬に個人ごとに配分額をお知らせし、来年3月には残余財産を配分することができることであつた。

(清算事業団への聞き取り情報 29.6/22)

* センツウ社友会第2回役員会開催 *

開催日:平成29年9月16日(土) 13:00~15:00

場 所 : 島嶼会館 会議室

出席者:9名 (大場、菅原、崎山、松原、平野、濱田、鏡、中野、大和田の各役員)

1. 議題・議事

(1) 臨時総会の開催通知について

臨時総会の開催通知については、往復ハガキにより平成29年9月25日に発出することとした。

なお、会員からの出欠連絡は10月20日までをお願いすることとした。

(2) 臨時総会への提出資料について

臨時総会への提出資料については、「臨時総会会議次第」「センツウ社友会の解散について」「残余財産の処分等について」の通りとすることとした。

残資産(現金・預金)は社友会の解散日(12月31日)現在で決算書を作成し、寄付金額も明示したうえ、郵送で全会員へ報告すること。

なお、収支状況については、9月15日で仮締めを行い、平野監事の監査を受け、監事からは適正に処理されているとの監査報告があつた。

(3) 8月10日発出の周知に対する会員からの意見等について

会員へのお知らせに対しては、手紙、メール、電話等でのご意見はなかったが、阪神支部からの申出については、支部の判断を尊重すること、センツウ社友会の会計処理については、阪神支部では最後の同窓の集いを開催するのであるから、支援金と残金は支部で有効に支出していただき、同窓の集いの経費に全額

充当して、返金を要しないこととした。また、最終決算報告は前(2)の通りとすることとした。

なお、社友会だよりの記事については、最終号だからといって特別なものでなく、例年通りに各地の同窓の集いの記事をお願いする。掲載写真については、紙面編集の関係で、ご要望に沿えない場合もあることをご理解いただく。

(4) 臨時総会における議事進行と役割分担について
臨時総会における進行手順と役割分担を次の通り決定した。

・総会の司会:松原理事・総会の議長候補:松原理事

(5) 首都圏の同窓の集いについて

首都圏の同窓の集いについては、次の通り決定した。

①日時:平成29年12月2日 12時から

②場所:メルパルク東京(次回からは他の会場も検討する)

③会費:8,000円

④開催通知:平成29年11月2日に往復ハガキ発出する。

【本号をもって最終発行となりました。

長い間のご愛読ありがとうございました。】

お悔やみ

檜尾誠司 様 平成29年1月
享年84歳

山川雅史 様 平成29年5月
享年88歳

本波 勲 様 平成29年5月
享年73歳

森本 薫 様 平成29年6月
享年76歳

末宗正孝 様 平成29年12月
享年74歳

鴨光一郎 様 平成29年12月
享年88歳

謹んでご冥福をお祈りいたします